



やざわえみこ通信

第66号

〒340-0823 八潮市古新田923 TEL (FAX共通) 048-997-9632

E-mail: e-yazawa@smile.ocn.ne.jp http://www.e-yazawa-web.net/

ブログ「えみこ日記」もほぼ毎日更新中！

市民派  無所属

報告

第1回定例会 (3/2～3/20)

市長から提案された平成27年度当初予算案を含む47議案はすべて可決。議員提出5議案のうち2議案（八潮市議会委員会条例の一部改正とドクターヘリの安定的な事業継続に

対する支援を求める意見書）が全会派一致で可決された。しかし、私の提案した「子宮頸がん予防ワクチンの副反応被害者に対する救済に関する意見書」は、自民クラブ、公明党、民政クラブの反対で否決となった。市内でも副反応被害者が起っている状況なので、とても残念に思います。

291 億円 （前年度比 25 億 7 千万円増）

平成27年度一般会計予算

《歳入》

単位：千円

《歳出》

	平成27年度	前年度比
市税	15,165,639	233,759
譲与税・交付金等	1,768,500	212,900
地方交付税	150,000	▲200,000
国庫支出金	4,809,992	519,922
県支出金	1,380,248	175,066
分担金・負担金	352,648	31,414
使用料・手数料	176,585	1,610
その他*	2,457,455	871,841
繰入金	304,533	63,188
市債	2,534,400	460,300

	平成27年度	前年度比
人件費	5,347,873	▲116,753
物件費	4,791,258	404,749
維持補修費	134,243	12,232
扶助費	6,210,541	181,331
補助費等	2,929,922	784,582
普通建設事業費	3,429,778	1,337,695
公債費	3,169,329	157,930
積立金	1,417	▲283
貸付金	348,009	13,664
繰出金	2,687,630	110,713
予備費	50,000	0

*歳入のその他は、財産収入、寄付金、諸収入、繰越金の合計です。

3月議会に2014年度一般会計補正予算で、「プレミアム付き商品券発行事業」に7千7百万円の補助金が計上された。八潮市では全額を商工会に補助金として支出して、7月中に、1万円の商品券に3千円のプレミアムを付けて4万セットが販売される予定です。

この財源はすべてが国の補正予算で、消費喚起・地方創生として全国自治体に総額4千2百億円が交付され、八潮市には4千万円が交付されますが、財源は私たちの血税です。

これまでも消費税や子育て福祉などを名目として、巨額の税金を使って国民に現金をばらまくような政策を行っていますが、本当にこれで地域での消費が増えるのか、2年後の消費税10%引き上げまでに景気回復が実現できるのか、かなり疑問です。

しかし、補正予算に計上されたのは、プレミアム商品券分だけでなく、補正予算全体に反対ではない。悩んだ末、「プレミアム商品券発行事業を除き賛成する」と討論をして賛成しました。

悩んだ賛否

4月12日投開票の埼玉県議選の投票率は32.38%（県平均37.68%）。県内で下から6位でした。

☆4月から介護保険料が改定されました。基準月額額は4775円、近隣では越谷市4490円、草加市4971円、三郷市4300円、吉川市4731円県平均は4835円です。埼玉は今後高齢化が日本一のスピードで進むとされています。老いても安心して暮らせるまちづくりは急務です。

Q&A

3月議会

やざわえみこの一般質問

Q法曹有資格者の職員採用について

地方分権時代、既存の法令との整合性を重視する従来型の法務だけではなく、地域の実情に応じた独自政策の実現や公共的課題の解決にあたり、立法、法執行、争訟等の場面において法を能動的に活用する「政策法務」への転換が必要となっている。その為、近年、弁護士をはじめとする法曹有資格者を職員として採用し、日常的に活用する自治体が増えている。採用方法は①任期付き職員として②一般の競争試験又は選考による常勤職員として③非常勤職員として、等の3つの形態が考えられるが、市も法曹有資格者の採用を検討すべきでは？

A 全国の自治体で、採用しているのは6.2%（平成26年弁護士白書）と、徐々に増えてはいるが、ごく僅か。八潮市では法律的な専門性の高い案件は、顧問弁護士による指導を受けながら取り組んでいる。法曹資格者の採用による効果が測定しにくいことや顧問弁護士との役割分担が不明確。任期を定めた採用の場合、次の法曹資格者を採用できるか不確実。すぐに法曹資格者の採用状況にはない。

Q議会の質問に対する市の検討過程の公開について

鳥取市では、平成22年12月議会の一般質問から、質問に対する市の対応状況をHPで公開しています。このHPを見れば、検討中、対応困難、対応済み等、現在の状況がよく分かりとても便利です。八潮市でも実施すべきと思いますが、市の考えをお聞きます。

A 長崎県大村市、岐阜県高山市、熊本県大津町でも一般質問の市の対応をHPで公開している。本市では、質問に対して「検討する」と答弁した案件については、担当課で必要性や費用対効果等、様々な要素を勘案しながら検討しており、検討状況の問い合わせがあれば、その都度説明させていただいている。今回のご質問については今後、調査・研究をしていく。

やざわのコメント

「調査・研究」ということは、「実施する予定はない」ってこと？

Qマイナンバー制度について

1. 個人番号の付番と通知

①通知カードが届かない住民へはどのように対応するか。②通知カードの交付にあたり、DVなどに伴うトラブルが発生した場合どのように対応するか。その想定マニュアルを作成しているか。

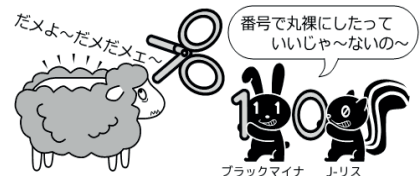
2. 個人番号カード

①カードの発行について本人確認はどのように行うのか。
②カードの発行は本庁舎以外でも行うのか。

3. 個人情報保護条例

番号法との整合性による条例改正を行うのか。行うとしたらどの条文を主に改定するのか。

A ・個人番号の付番と通知は、国からの通知待ち（平成27年5月8日現在も通知がない）
・個人番号カードの交付は、請求者が市役所へ出向き、運転免許証等の官公署から発行されたもの等を提示し、直接受け取る。個人番号カード交付は交付時に暗証番号を設定する必要があり、そのための機器が必要となるため、本庁舎のみで対応。
・個人情報保護条例の改正は、番号法の第29条及び第30条に関して改正が必要。条文としては、用語定義の追加の他、特定個人情報の利用目的以外の目的での利用・提供の制限に関する規定や特定個人情報の利用停止に関する規定等について改定したい。



やざわの意見 来年1月から運用となるマイナンバー（社会保障と税の共通番号）制度。政府の広報では、とにかく「便利になる」の一点張りだが、便利になればなるほど個人情報のダダ漏れリスクも増す。更に、施行前にも関わらず、今国会では使途拡大（預貯金口座、健康診断情報、予防接種履歴）を可能にする法改正案が審議入り、同時に、個人情報保護法の改正案も国会に提出し、「人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪の経歴」という機微情報を、「要配慮個人情報」と新たに規定し、これを企業が取得できる例外規定も盛りこんでいる。一旦、漏えいすれば、芋づる式に個人情報が引き出される可能性を生み、「なりすまし」犯罪につながる。今年1月の政府調査では、マイナンバーの内容まで知っている国民は28.3%、法人番号については3.1%というお寒い状況。

質問の詳細については、5月末に公開される議事録を参照 <http://www.city.yashio.lg.jp/gikai/>

★福島第一原発事故後に施行された原発の新基準で必要となった追加の安全対策費が大手9社で少なくとも2兆3700億円とか。未試算の原発もあるそうで、原発の経済性の根拠が揺らぐ。2013年9月から原発ゼロになったが、5月19日で611日連続ゼロ達成。しかし、混乱はない。電力は十分足りています。

☆不登校も特別支援学級もない、同じ教室で一緒に学ぶ普通の実在の公立小学校の挑戦映画『みんなの学校』を観た。学校の理念は「すべての子供の学習権を保障する学校をつくる」であり、不登校はゼロ。唯一のルールは、「自分がされていやなことは人にしない、言わない」という「たったひとつの約束」。女性校長先生がすばらしい！

4月から

新教育委員会制度へ移行

改正地方教育行政法では、新制度への移行措置として、現教育長の任期が満了するまでは、現行の制度（教育委員長と教育長が並立する）を認めている。八潮市は、昨年9月に石黒教育長が再任となり、任期を3年以上も残していたが、3月31日付けで、教育委員全員がいったん辞職し、再度、新教育長に石黒氏が、他の教育委員もそのまま同じ方々が任命された。

八潮市のように、教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」に移行した自治体は、4月1日時点で13都府県と281市区町村で、これは全国体の16%。県内では15市（草加、戸田、鴻巣、入間、ふじみ野、東松山、熊谷、秩父、深谷、加須、春日部、久喜、八潮、幸手、白岡）と4町（小川、滑川、ときがわ、横瀬）で新教育長が誕生。

法制度上は首長や教育長の影響力がこれまでより強まることは確かですが、それが地方教育行政にどんな影響を及ぼすのか・・・特に、教育の独立性をどのように担保できるかが問題なので、委員会審議の中で質疑した。

「独立性は保障する」と、市長は明言していたが、今後も制度施行後の市の動向を注視していく必要があると思っています。

既に、「教育に関する総合的な施策の大綱」の策定作業が始まっており、4月16日から6回の会議を経て策定される予定です。会議はすべて公開なので、お時間のある方は是非、傍聴を！

HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）接種は、医療機関へ行く前に、まず保健センターで説明を受けてから・・・

市内で、ワクチンの副反応被害者が出ていることから、①副反応被害者の現状や未接種者を含む対象年齢全員の健康調査の実施等3点について質問した。

市の答弁は、全く副反応被害者の実態を把握していない上、（市長答弁も含めて）私の質問の意図を全く理解していないのか、最後までかみ合わない答弁でした。

しかし、議会終了後、担当課から「今まではワクチン接種希望者が、直接医療機関で説明を受けてから接種していたが、4月以降は、まずは保健センターで、副反応等のリスクを聞いてから、それでも接種を希望する場合は、医療機関へ赴き接種する方式」へと変更。この結果、4月に新規の接種希望者が現れたそうですが、「保健センターで話を聞いた後、接種を取りやめた」と、聞きました。

視察報告（総務文教常任委員会）

5月11日～12日、総務文教常任委員会で氷見市、富山市を視察しました。

氷見市では、耐震性に問題のあった市庁舎の代わりに高校の体育館を改修し、市庁舎として活用しました。

ただ、これはどこでも実現できるものではなく、統廃合によって廃止された高校があったこと、東日本大震災後、既存の建物利活用の補助金、更に、体育館が並立して2棟あったことなどで実現できたもので、考え方は参考になるが、どこでも実現できることではない。（尚、このアイデアは、職員からの提案とか・・・）。



▲向って私の右隣が本川氷見市長

「臨時職員の報酬等の条例化と時給100円アップ」実現！！

昨年9月の一般質問で、臨時職員の処遇改善として、「今年10月に県の最低賃金が17円引き上げられ802円となったが、最低賃金は平成12年比1.2倍になっており、しかも物価も年々上がっている。年金だって物価スライドが行われているのに、13年以上も臨時職員の賃金が据え置きというのはおかしい。改定予定は？」と質問した。併せて、地方自治法第204条の2では「いかなる給与その他の給付も法律又はこれに基づく条例に基づかなければならない」と規定されているにもかかわらず、八潮市は要綱（行政機関の内部規定で法的拘束力はない）で支出してため、条例化を求めている。



3月議会に、市長提案の条例案が可決され、時給も100円アップしました。臨時職員は、以前は、臨時的な仕事が主であったが、最近は、職員定数管理の結果、基幹的な仕事も担っている場合が多いので、私の質問をきっかけで処遇改善が進んだことはうれしい。

●4月から困窮者自立支援法が施行された。八潮市では必須2事業（自立相談事業・住居確保給付金）と、任意事業として学習支援を行う。法の趣旨を活かす為に、就労準備支援等の実施等、総合的な支援の早期実現を求めた。自立相談事業は、現在、民間委託先を選定中で、6月1日から実施予定とのこと。

★市政に対するご意見や相談等がありましたら、いつでもお寄せ下さい。メール、TEL、ファックス等でも結構です。

えみこの活動日記（1月～3月抄）

1月

- 4 東古新田町会新年会
- 8 弁護士の条例制定支援に関するセミナー「法化社会における条例づくり」
- 9 クォータ制を推進する会例会
- 10 商工会賀詞交歓会
- 11 地元消防団新年会
- 16 日経グローバルセミナー「地域ブランドの作り方」
- 17 市内有料老人ホーム見学、「女の平和」人間の鎖参加
- 18 WINWIN、赤松政経塾、クォータ制を推進する会合同新年会
- 19 マイナンバー勉強会
- 20 全国フェミニスト議員連盟セクハラパンフレット作成PT
- 25 クォータ制を推進する会勉強会
- 26 議会報編集委員会
- 28 会派説明



2月

- 1 ウィメンズプラザBPW勉強会「まだ104位？」
- 3 地方×国政研究会
- 4 財政研究会 早稲田大学マニフェスト研究所所長北川正恭氏最終講義
- 7 第40回『都市問題』公開講座「自治体議会は必要か？」
- 10 官製ワーキングプア勉強会
- 13 議案説明会
- 15 怒れる女子会 in 婦選会館
- 16 日経グローバルセミナー「結婚しやすい社会とは——地域の結婚支援、最新事情」
- 19～20 地方財政セミナー、共通番号いらないネット設立、全国交流会
- 22 地名を考えるシンポジウム「名字と地名」
- 23 議会運営委員会
- 24 オンデマンド交通勉強会
- 25～27 JIAM研修「域学連携による活力のあるまちづくり」
- 28 市民大学・大学院卒業式

3月

- 1 映画「じんじん」鑑賞
- 2～20 3月定例会
- 6 クォータ制を推進する会院内集会
- 8 「女性と政治キャンペーン2015」
- 13 潮止中卒業式、日経グローバルセミナー「観光による地方創生」
- 14 福祉大会
- 24 中川小卒業式
- 29 東古新田町会総会
- 31 HPVワクチン被害者の全面解決を求める院内集会



3月議会の報告「えみこ通信」発行が、通常より大変遅れました。ブログ「えみこ日記」でも公表していますが、実は、3月議会が始まってまもなく、右胸にしこりを発見！ 予算議会終了後に乳腺外来で診てもらった。マンモグラフィ、超音波検査、MRIの検査、細胞を一部切り取り検査等の結果、乳癌と診断されました。

癌の家系でもないし、特に理由はないが、「癌」だけは罹らないと確信していたので、癌の告知は、正直、とてもショックでした。

セカンドオピニオンでも、幸い、他の臓器への転移が無い「非浸潤癌」で、癌を切り取り、約一ヶ月の放射線照射を受ければ大丈夫のようです。「議会を欠席したくない」という私の希望を叶えていただき、6月議会閉会（6月18日予定）翌日入院、22日に手術の予定です。

今、癌は二人に一人の時代、誰でもなる可能性があるそうです。

実は、通信の発行を休もうとも考えましたが、「お母さんの通信を楽しみにしている人もいるのでは？」と、末娘の言葉に励まされ、ようやく発行となりました。

神様が与えてくれたこの貴重な体験を、今後の議会活動に活かされば・・・と、考えています。

編集後記に代えて

国際女性デー（3月8日）



統一地方選に向けて「女性議員を50%に！」とおそろいのバンダナを身につけて渋谷ハチ公前でアピール！！



☆平成27年度第2回定例会は6月1日開会予定です。お時間のある方は、是非、傍聴において下さい。